

I. 事業の概要	
1. 事業名称	「UGGA と協働する生理の自己管理教育とナプキンの縫製技術教育のクラブ活動化」
2. 活動国・地域	ウガンダ共和国ブケディア県カンゴレ副郡 公立コバレ小学校・カパリス小学校
3. 事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業
4. 事業の目標	1、女子生徒への生理衛生教育を行い①生徒自身が生理のリズムを理解し、望まぬ妊娠を避ける知識を身に付け、②必要な時に必要な数の再使用できる布ナプキンの縫製技術を習得することで、③生理に対応できる活動をクラブ活動化する。 2、生理衛生教育を担当するシニアウーマンティーチャーと女子生徒が自身の生理を記録する生理の周期表を元に生徒が自身の排卵の日を知り、望まぬ妊娠を避ける教育を行う。 3、PTA や行政、地域の有力者、男子生徒へ生理衛生教育への理解と啓蒙を行う。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	2024 年 10 月 2 日、世界ガールズデーに併せ UGGA (Uganda Girl Guides Association) の監修のもと「STOPOOOO」というテーマで、カンゴレ副郡の 9 校の小学校女子生徒によるポスター展を開催したが、最優秀作品は「早すぎる結婚、早すぎる妊娠を後悔している」という内容であり、ウガンダ社会が抱える若年女子が子供を産み育てる現状と課題を浮き彫りにした。社会的に生理や性に関する話題はタブー視され、若年妊娠が放置されており、かつ、社会保障制度がないため、母親が子供を多く産むことが生活保障とされている。現状を変えるには若い女性が自立できる環境づくりが求められている。
6. 事業の意義・目的	函館アフリカ支援協会がウガンダ支援を開始した 2009 年の人口は約 3,200 万人、2025 年は約 5,100 万人、25 年後の 2050 年には 9,000 万人を超える人口推計がある。その時、人口ピラミッドは 5 歳未満の子供が 1400 万人を超える社会が出現する。貧困を抱えたまま、若い女性が子育ての負担を強いられる社会を UGGA と変えて行きたい。
7. 主な対象者 (受益者)	公立コバレ小学校の 5 年～7 年の女子生徒 165 名。カパリス小学校 5 年～7 年の女子生徒 60 名。縫製技術教育は放課後教育として行う。
8. 実施期間	(西暦) 2026 年 2 月～2027 年 2 月 (2 月新学期、11 月 3 学期終了)
9. 活動内容	1.生理の自己管理教育の実施に向けて、公立コバレ小学校(新規)とカパリス小学校(継続)にて女性教員による生理の周期の記録の付け方指導を行う(女生徒へ周期表の配布、周期・体調・排卵期の理解を含む)。 2.女性教員による生理を記録する周期表を用いた個別カウンセリングを公立コバレ小学校(新規)とカパリス小学校(継続)で行い、望まぬ妊娠を避ける知識を身に付ける生理衛生教育を行う。 3.布ナプキン縫製技術の継承とクラブ活動化を公立コバレ小学校(新規)とカパリス小学校(継続)で行う。 4.UGGA 主催全国キャンプでの生理の自己管理教育の取り組み成果の発表(2026 年 8 月)を支援する。 5.地域・学校関係者向けの意識啓発活動を公立コバレ小学校(新規)とカパリス小学校(継続)にて実施する。男子生徒を対象とした生理を正しく理解し、からかいや偏見を防ぐための教材・動画を用いた学習会を実施する。
9. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	NPO 法人函館アフリカ支援協会 (2024 年 5 月 6 日現地 NGO 法人取得)
2. 主な活動内容	1、2018 年よりカパリス小学校、縫製技術教育 5 ケ年計画の推進や、生理衛生教育と布ナプキンの縫製技術教育のクラブ活動化を推進してきた。 2、2022 年からカパリス小学校、学校給食を全学年で実施、4 年間継続中。 3、教員住宅を 5 棟建設中。2025 年度はまもなく 2 棟完成。